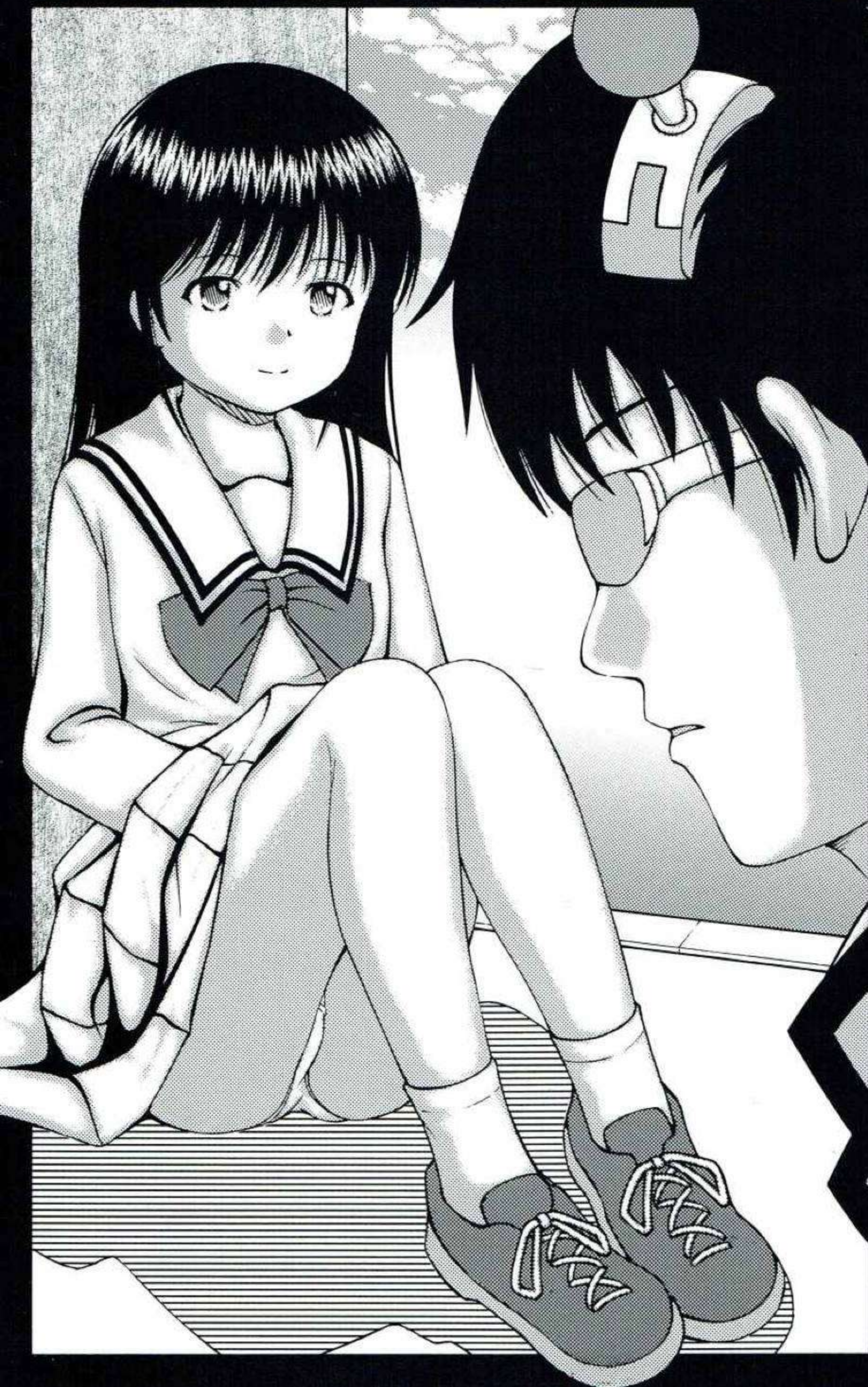


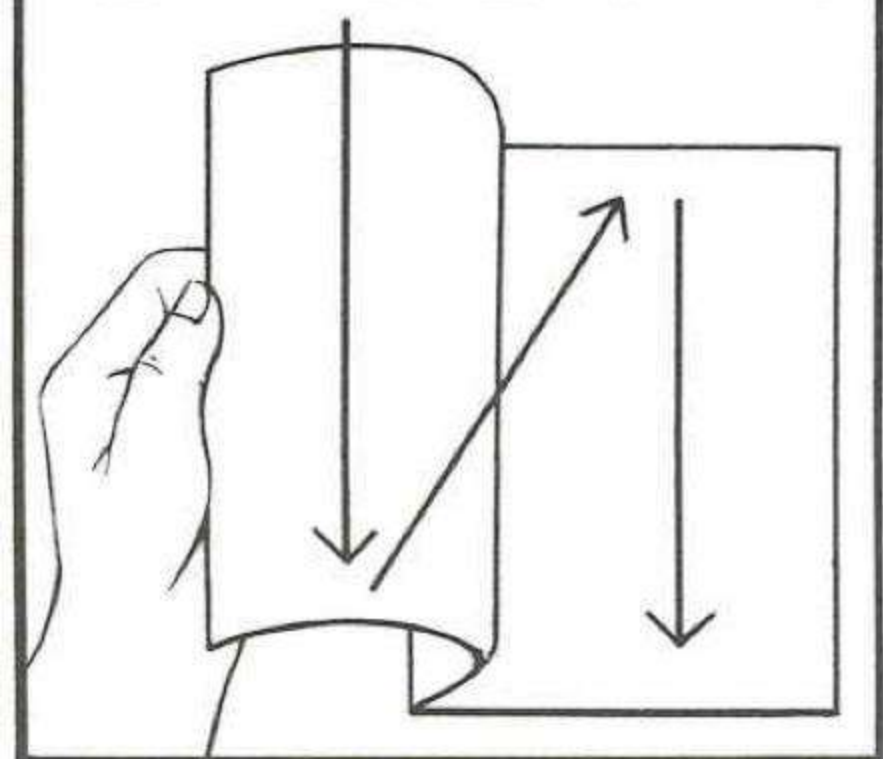
第二次性徴



VS
透視
能力

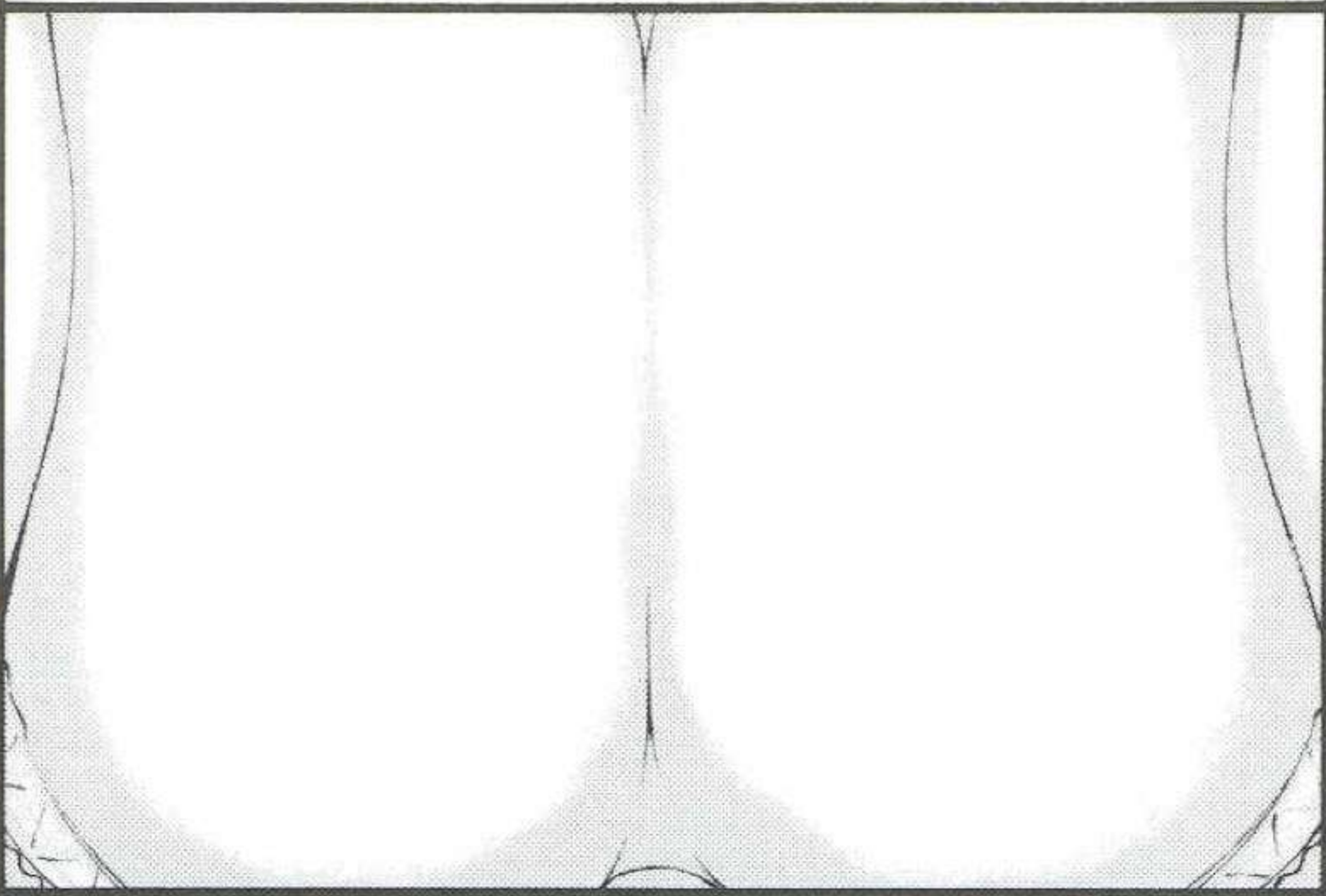
当サークル発行の同人誌は
左頁を先に読んで下さい。

左ページが先、次に右ページ。



制服姿の女子生徒が
体育座りをしている

透視能力発動！



ん...? 齊木君が
こっちを見て何か
合図をしている?

やだっ...わたし
パンツ見えてた

あせっ

恥ずかしい...

このように!

透視能力を持ってても
肝心な部分は見えない

何故なら日常生活で
大股を開いて大事な
部分を拡げてくれる
女子はいないからだ

そもそも女性の裸を
見れた時に嬉しいと
感じるのは日常的に
見れないからである

日常的に見る事ができる
女性の鼻を見て嬉しいと
思わないのと同じように
透視能力で強制的に裸が
見えてしまうと裸自体に
興味を持つ事もなくなる

男性は自分の裸をいつでも
見れるから男性の裸を特に
見たいとは思わないだろう

小学生の楠雄→

とはいえ：筋肉ムキムキの
男性の裸に目が行くように
超巨乳の女性には目が行く

二十二歳の新卒の
女の先生か珍しい

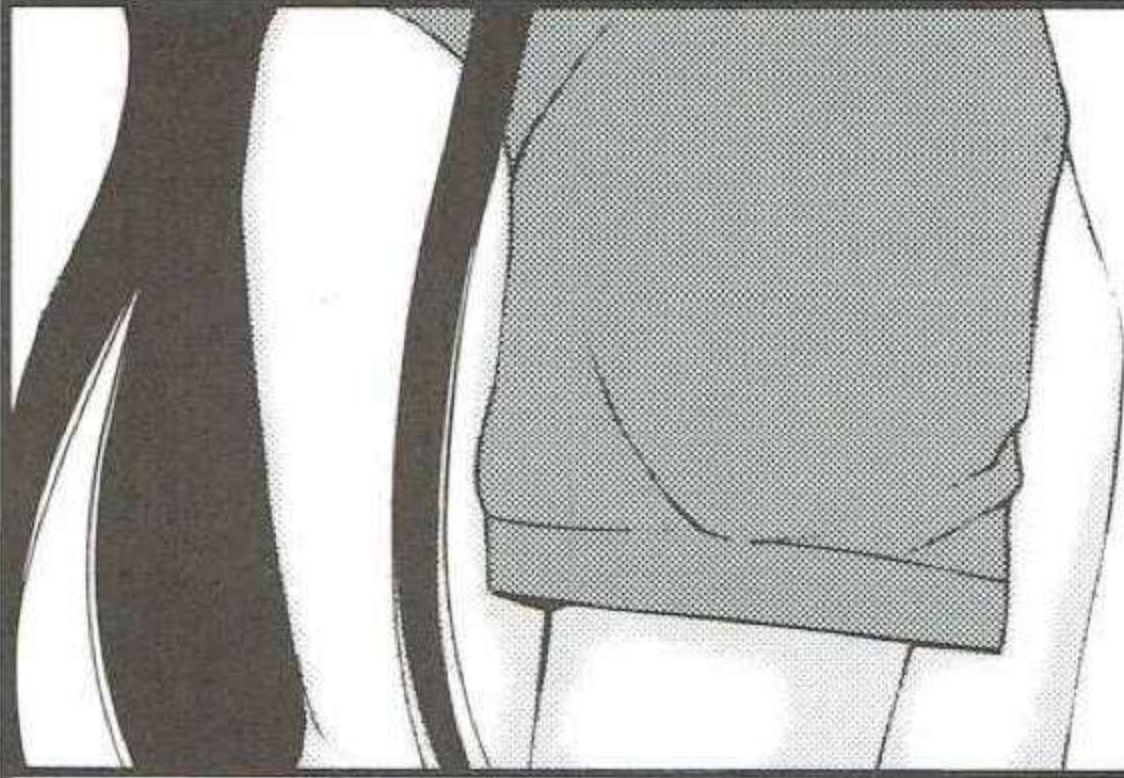
じゃあ：教科書を
読んでもらいます

斉木君：先生じゃなくて
教科書を見ましょうね！

中身よりも下着の方が
その人の性格によって
違いが出てまだ面白い

乳首は陥没かどうか
ぐらいしか差がない

しかし…同級生に関しては
下着のバリエーションすら
ないので注目する事はない



斉木君…何？

どうしたの？
じっと見て…

ムクムク

ある日…ふと気づいたら

男子と同じだったはずの
女子の胸に変化があった

乳首だけが
ポツチリと
突き出てる

初めは寒さなどで
勃ってるだけかと
思ったが違った！

大人と同じ乳首の
ミニチュアなのだ

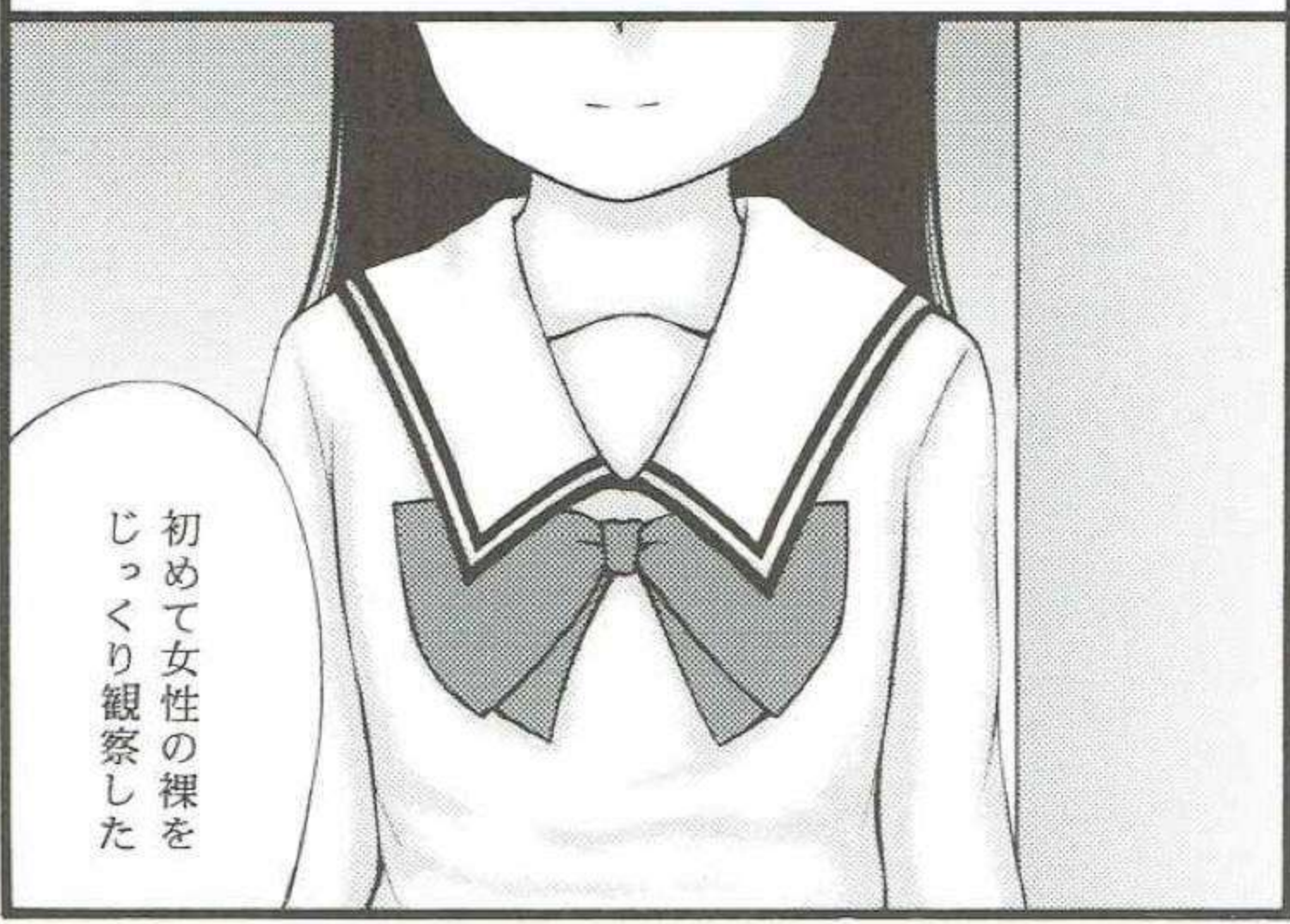


透視しなくても
この頃の乳首は
体操着越しでも
分かる事がある

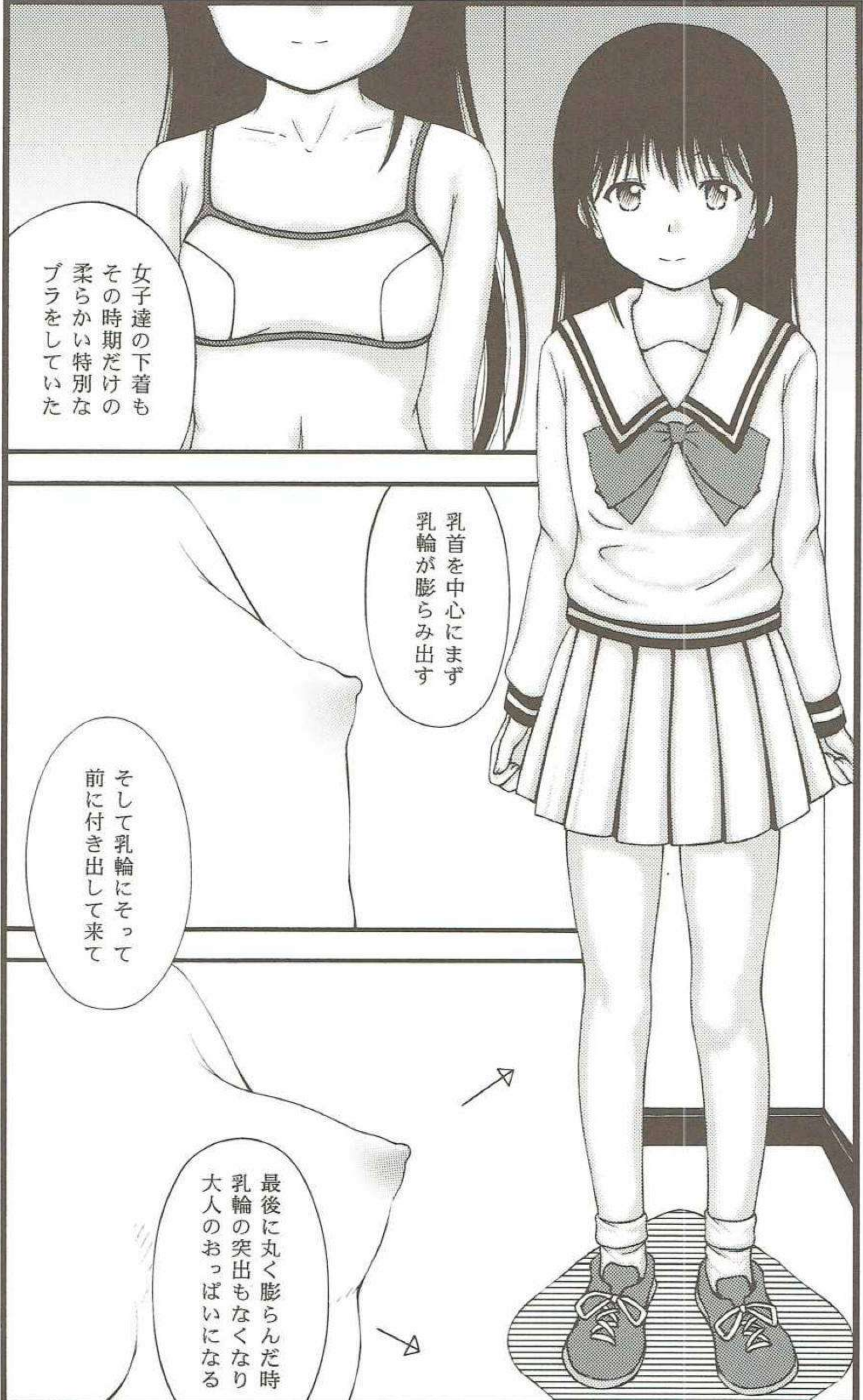


日常的に見ていた
同級生の鼻の形が
変化をし始めたら
興味を持つだろう

「——」



初めて女性の裸を
じっくり観察した

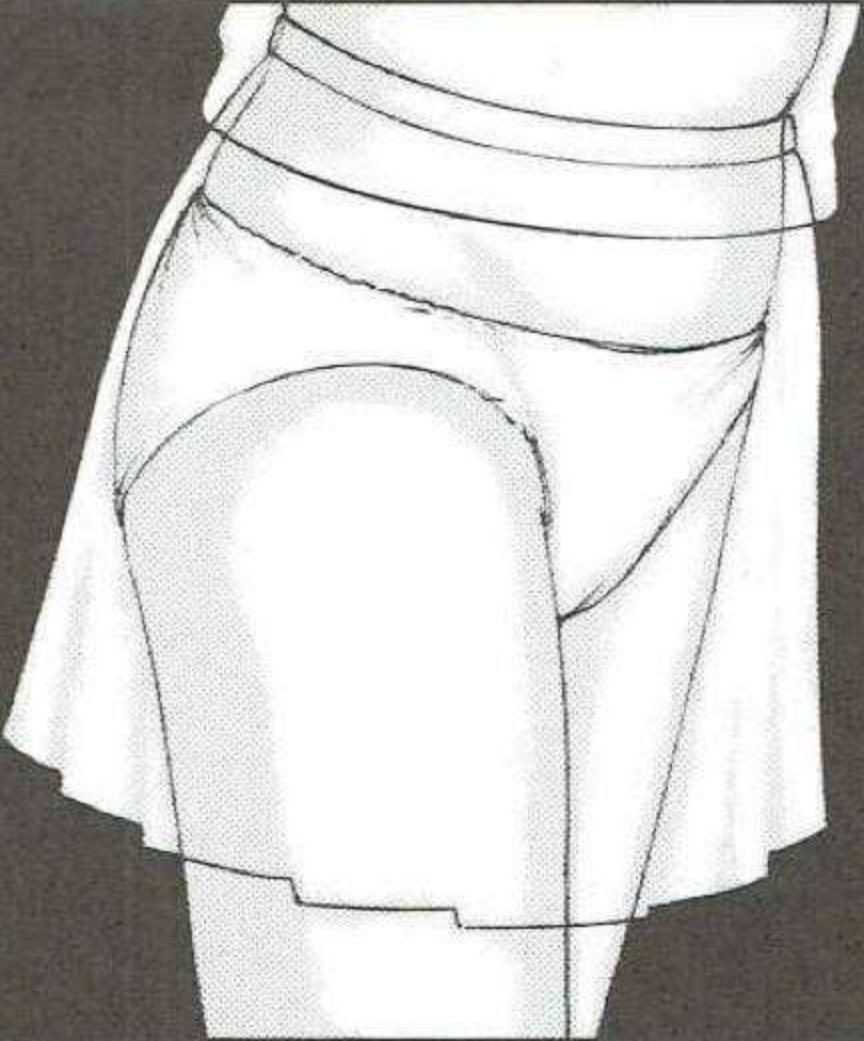


女子達の下着も
その時期だけの
柔らかい特別な
ブラをしていた

乳首を中心にもず
乳輪が膨らみ出す


そして乳輪にそって
前に付き出して来て

最後に丸く膨らんだ時
乳輪の突出もなくなり
大人のおっぱいになる




女子はおっぱいが膨らんで来ても
下の毛は全く生えてない子が多い

陰毛は大人でも
剃っている人が
多く興味はない



むしろ中学校では
学校一の美少女も
真面目な委員長も
腋毛が生えていた

大人は脱毛しているし
子供は生えてないから
女子の腋毛にびっくり



…おっぱいの方はもう
普通になってしまった



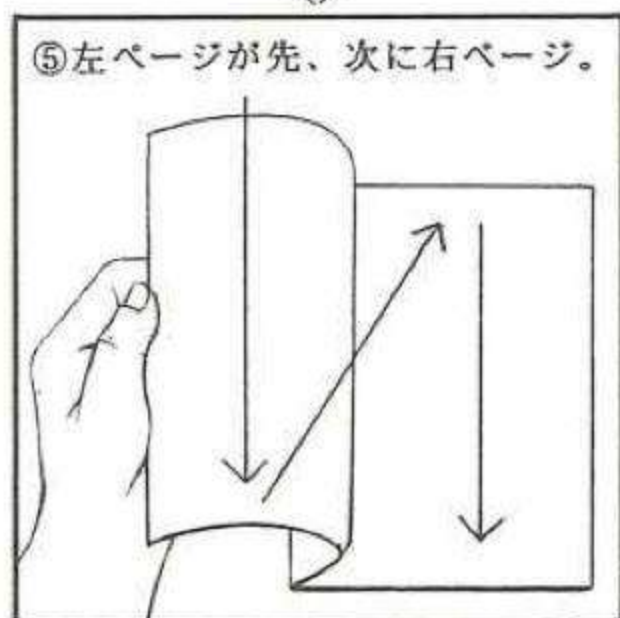
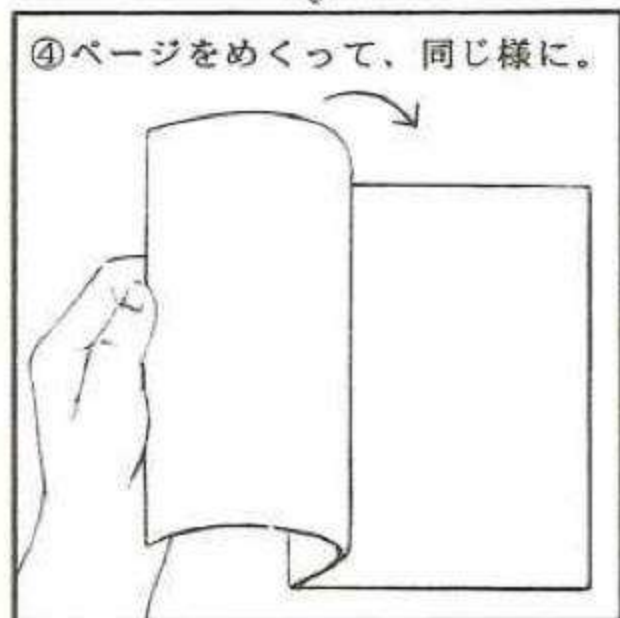
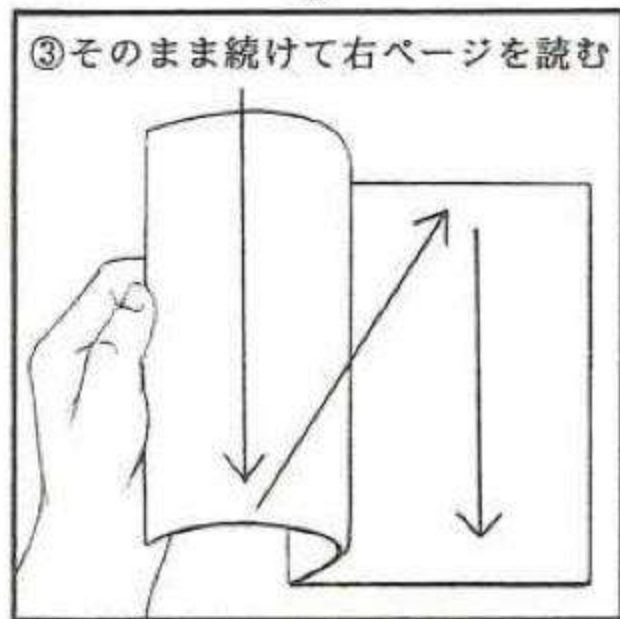
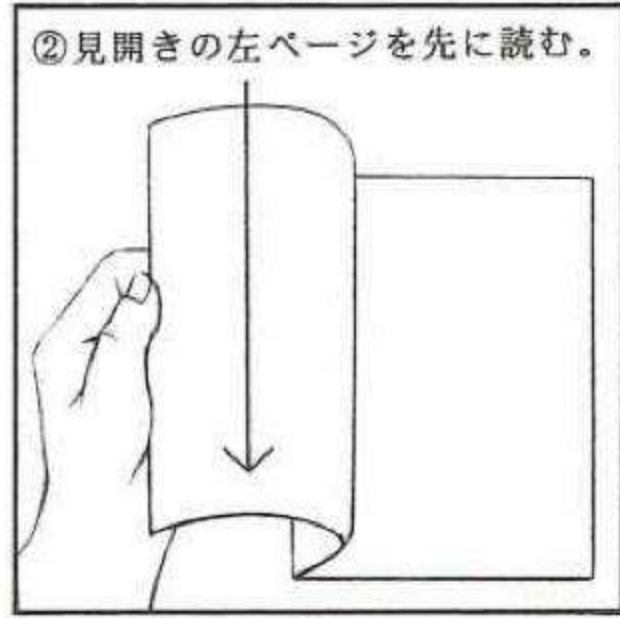
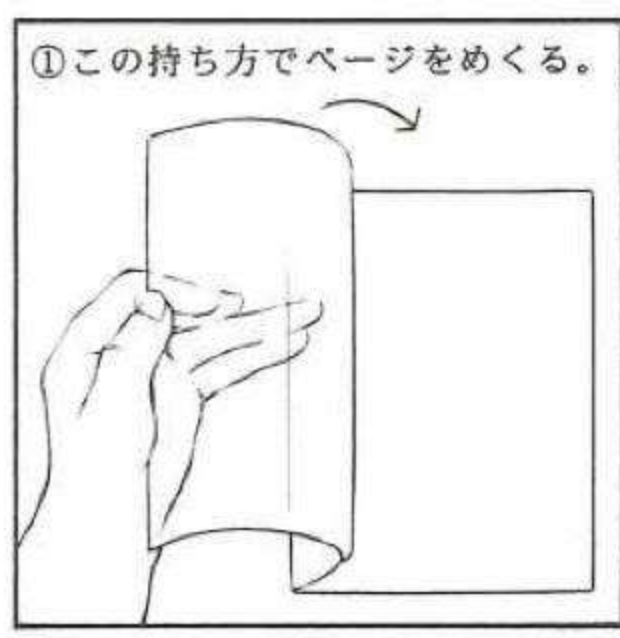
ただ単に乳房が膨らんで
カップ数が増えるだけ…

中には一緒に乳輪も
広がってく人もいる

中学生でも大人みたいに
乳輪の大きな子はいるが

乳首はまだ十八歳ぐらいまで
成長するので大人より小さい

実用新式の本の読み方



奥付

発行：実用新式

発行日：2016年11月13日

印刷会社：(株)ラック

委託先書店：(株)虎の穴

禁・無断転載無断複製

